

杉戸町一般廃棄物処理基本計画（素案）に係る パブリックコメントに対する結果について

1 意見募集の概要

- ① 意見募集期間：令和8年1月14日（水）から令和8年2月13日（金）まで
- ② 意見募集の周知：広報すぎと、町ホームページ
- ③ 閲覧場所：町ホームページ、環境センター、杉戸町役場（行政情報コーナー）、各公民館、生涯学習センター、深輪産業団地地区センター、コミュニティセンター、ふれあいセンターエコ・スポいずみ、彩の国いきいきセンターすぎとピア、高野農村センター
- ④ 意見の提出方法：窓口を持参、郵送、FAX、電子メール、電子申請

2 意見募集の結果

- ① 提出者数：3人（提出方法：FAX 2通、電子メール 4通）
- ② 意見等総数：6件
- ③ 反映件数：3件（No.1、No.2、No.3）

- ※ 意見の概要と意見に対する町の考え方は別紙のとおりです。
- ※ 意見については、一部要約の上、記載しているものがあります。

No.	項	意見の概要	意見に対する町の考え方
1	40	リチウムイオン電池混入説明個所に以下を追加してはどうか「リチウムイオン電池検知システムの実証実験（AIで検知）が他市で進んでいるので、進捗を注視し、導入について調査・研究を進めたい」	今後、長期間にわたり施設を運営していく必要があることから、素案 42 ページ、「3-3. 安全で適正なごみ処理のための施設の維持管理」に、先行事例や新たな技術等について必要に応じて調査・研究を行っていく旨の記述を追加いたします。
2	45	幸手市の可燃ごみの処理は杉戸町に委託し、杉戸町のし尿処理は幸手市に委託している。 第 6 次杉戸町総合振興計画施策 30 のなかでも処理体制の充実を期しているため、広域的連携に至った背景及びメリット等について説明があるとありがたい。	素案 6 ページ、「(2)関係市町村の動向」に委託処理の経緯を追記いたします。
3		本意見は、環境センター長寿命化工事（約 40 億円）の投資判断の妥当性、および住民負担の公平性について意見を述べるものです。杉戸町個別施設計画』によると、町の公共施設全体の更新費用は「30.1%」しか財源確保できないという試算が出ています。全体の 3 割しか維持できない財政状況の中で、CO2 削減率が要件（3%以上）を満たさず国の交付金対象外となる施設に、40 億円もの地方債（借金）を投じるということについて懸念しています。令和	環境センター大規模改修工事につきまして、国の補助金の対象となる要件には二酸化炭素の削減の他に様々な要件があり、工事の検討の際には、これらの要件のほか、施設の運営費用なども含めて検討した結果、最もコストがかからない方法を採用したものです。 令和 6 年に成立した「再資源化事業等高度化法」が目指す「資源の質的な転換」は重要であると認

	<p>6 年に「再資源化事業等高度化法」が成立し、埼玉県も「サーキュラーエコノミー推進分科会」を継続的に開催しています。しかし、本計画にはこれらの新法や最新知見への言及がほとんど見られません。審議会議事録では「住民への啓発」「分別の徹底」といった住民の労力に依存する記述が目立ちます。住民に啓蒙を求める前に、行政自身が最新の知見を学び、計画に反映させるべきではないでしょうか。杉戸町の指定ゴミ袋は約 400 円であり、久喜市・宮代町約 150 円です。指定袋制度のない春日部市と比較しても明らかに高額です。さらなる値上げを検討するのであれば、事業系ゴミの負担適正化や広告収入等の歳入確保努力も併せて明記すべきです。</p> <p>本計画に、高度化法の活用・機械選別技術の導入・有料広告等の歳入確保策について「調査・研究を行う」旨の追記を要望します。</p>	<p>識していますが、本法は主にプラスチック資源の高度なりサイクルを行う事業者や製造業者に焦点を当てた法律であることから、現在の当町の施設状況においては、直ちに設備的な義務が生じるものではないため、素案には記載をしておりません。</p> <p>ご意見にありました「機械選別技術の導入」につきましては、現状の施設等の状況から選別に関する技術の活用は難しいと考えておりますが、今後、長期間にわたり施設を運営していく必要があることから、素案 42 ページ、「3-3. 安全で適正なごみ処理のための施設の維持管理」に、先行事例や新たな技術等について必要に応じて調査・研究を行っていく旨の記述を追加いたします。</p> <p>ごみ処理の手数料の差異につきましては、処理原価のほかに「ごみ排出抑制」のインセンティブ設計など、様々な要因がございます。</p> <p>また、当町においては、家庭及び事業所から排出される可燃ごみについて、指定ゴミ袋による手数料の徴収を行っている反面、家庭から排出されるその他のごみ（不燃ごみ、粗大ごみなど）につきましては無料で収集、処理を行っておりま</p>
--	--	---

		<p>す。</p> <p>このような現状を踏まえ、素案 42 ページ、「3-5. ごみ処理手数料の適正化」に、現状の手数料の説明を追記いたします。</p> <p>なお、有料広告等の歳入確保策につきましては、ごみ処理手数料に直接の関連はございませんが、町全体の取組として、町ホームページ等において既に実施していることから、素案への記述はしないことといたします。</p>
4	<p>生ごみに着目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乾燥させて捨てる→エネルギーの削減 <p>焼却炉の負担軽減、回収時のガソリン節約にもつながる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生ごみ乾燥機の推進（商品名：パリパリキューブ、ルーフェンなど） <p>コストほぼゼロで生ごみを乾燥させる（食品トレーに広げて、干物ネットに入れてなど）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コーヒーかすは油を含むため乾かすことで燃料にもなるそうです。 ・食べつくす→食品ロス問題解決 <p>野菜くずを有効活用（プレスして煎餅にしたり、ブレンダーにかけてスープにするなどレシピを公開する）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンポストで土に還す ・ミミズコンポストにトライ！釣り好きの人に受けるか 	<p>生ごみの削減につきましては、素案の 39 ページ、「目標達成に向けた取組」のうちの「1-1. 住民や事業者への啓発・情報提供の充実と周知・啓発の強化」にごみの発生の抑制を掲げ、具体的な施策例に「家庭生ごみ処理容器の購入費補助制度の継続・周知強化」を掲げております。</p> <p>なお、その他のご意見につきましては、廃棄物のリサイクルに関するご意見として参考とさせていただきます。</p>

も？
農家さん、杉戸農業高校などとコラボ
農家さんに作物の育て方をレクチャーしてもらうなど、
土地を分割してレンタル畑にするなど

(提案)
紙おむつの焼却には、相当なエネルギーを費やすと考えられます。
高齢化が進む杉戸町において、大人用紙オムツの増加は、
今後ますます大きな課題になると感じています。
紙オムツは水分を大量に含み、焼却時の燃料負担が大き
く、焼却炉の寿命やコスト、CO2 排出にも影響します。
すでに他自治体や企業では、使用済み紙オムツを洗浄・
再資源化する技術の実証実験が始まっています。
「燃やすしかないもの」として扱うのではなく、将来的
な再資源化や、事業者との連携研究を、計画の中で検討
項目として位置づけてほしいです。
また、布オムツを回収・洗浄・再配達する仕組みは、ゴ
ミ削減だけでなく、見守りや雇用創出にもつながる可能
性があります。
助成金を出さなくても自主的に動いてもらえるような仕
組みが作れると良いなと思います。
また、「ごみ削減を地域の誇りとし、環境に優しい町とし

	<p>てブランド化することは、将来的な地域活性化にもつながると考えます。」 近年の気候変動、物価高、燃料費の高騰などは追い風となってくれると思います。</p>	
5	<p>埼玉県統計データ（令和2～3年度実績）を見ると、杉戸町とお隣の宮代町では、「リサイクル率」に大きな差があることが見えてきました。</p> <p>リサイクル率（資源として再利用される割合） 宮代町：約 36.2%（なんと県内の町でダントツ1位） 杉戸町：約 20.2%（県内の町村平均 22.7% よりも低い）</p> <p>・1人1日あたりのごみ排出量 宮代町：約 789g 杉戸町：約 841g</p> <p>杉戸町の高齢化率（65歳以上の割合）は約 33%（3人に1人）で、埼玉県平均（約 27%）を大きく上回っています。一方、お隣の宮代町も高齢化は進んでいますが、日本工業大学があり若者の出入りがあるため、統計上の見え方や、「高齢者へのサポート体制」に決定的な違いがありました。</p> <p>なぜ「高齢化」が進むと「リサイクル率」が下がるのか？ 体力の問題：重い資源ごみ（新聞紙や瓶・缶）を、遠くの集積所まで何度も運ぶのが辛い。 分別の複雑さ：細かいルールを覚えるのが大変で、「燃え</p>	<p>リユース、リサイクルの推進につきましては、素案の 39 ページから 40 ページ、「目標達成に向けた取組」のうちの「1-1. 住民や事業者への啓発・情報提供の充実と周知・啓発の強化」及び「2-1. 分別の徹底」に取組方針を記載しております。なお、その他のご意見につきましては、高齢者の方への分別の啓発に関するご意見として参考とさせていただきます。</p>

るゴミ」にまとめて出してしまいがち。
結果:「面倒だから全部燃えるゴミで出しちゃおう」となり、リサイクル率が下がり、ゴミの量が増える。
資源化のカギは高齢者の方々をどう動かすかがカギと思います。

ゴミの回収や分別などに高齢者の方々に集まっていたきお話をしながらゴミを運んだり、分ける作業をしたり、楽しめる憩いの場として、歩いたり物を持ち上げたりすることで、筋トレも兼ね、頭も使い、病院への行かなくなるとすれば一石何鳥もの効果が期待できるのではないのでしょうか？

また、リサイクルというのは、ゴミとして出したものが資源として活用されたということです。

リユース、アップサイクルなどはゴミにすらなっていない、リサイクルよりこちらの方に力を入れた方がお金もかからず、効率が良いのではないのでしょうか。

副業塾のようなものを推進して、お年寄りもあり余った時間をお金に変えて旅行に行ったりおいしいものを食べたりして元気になっていただく。など、メリットを前面に出して、お誘いしたらいかがでしょうか。

粗大ごみや資源ごみとして捨てられたものの中には、もしかしたらお金になるものもあるのではないのでしょうか。

		<p>どのようなものが捨てられるのか実際みていないので分かりませんが、地域の業者さんと連携して、ビジネスとして成長させることはできないのでしょうか。</p>	
6		<p>・洗剤類を環境を考えたものにシフトする。 特に塩素系洗剤は環境によろしくないと思っています。環境によいものは、洗浄力が環境を無視したものより劣る、と思われていると考えます。 重曹、クエン酸、お酢、セスキ炭酸ソーダ、水酸化ナトリウム、酸素系漂白剤などは、環境によくて汚れを落とす効果も高いようです。 市販で環境に良くて汚れ落ち効果も高いものもありますが、合成洗剤と比べると値がはるものとなり、関心が薄い人からすれば汚れ落ち良くて、安いもののほうが良い。と、選んでしまうと思います。 なので、教育が必要と考えます。 体に良くないものは、自然にも良くない、流して捨てて終わりではなく巡り巡って自分に返ってくるんだと学んでいただきましょう。 塩素系は自然を浄化する微生物も殺してしまいます。 浄化槽を使う家庭が多いと思われるので、非塩素系洗剤や手段をどんどん知ってもらい、実践してもらいましょう。 そのための情報発信、共有の場があり、交流が出来たり</p>	<p>素案 43 ページ以降の「生活排水処理基本計画」においては、公共下水道や合併処理浄化槽の普及を目的としていることから、生活排水に関するご意見として参考とさせていただきます。</p>

	<p>すると楽しいのではないでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none">・ マイクロナノバブルを推奨 <p>マイクロナノバブルは体の汚れも洗剤を使わないで落とせる、保湿効果がある、節水効果もあるとメリットだらけのものと思います。</p> <p>洗濯機に取り付けるものもあり、洗剤の量を減らしても洗浄効果がアップする、らしいです。</p> <p>農業にも池や海の浄化などにも使われているようです。</p> <p>シャワーヘッドや、洗濯機の水道口に取り付けるだけなので、電気も使いません。</p>	
--	---	--